

事業報告

令和元年度 法人本部事業報告

月	理事会	評議員会	事務局会議	備考
4月			4月26日	
5月			5月17日	
6月	6月4日監事監査 6/6・6/22理事会	6月22日	6月14日	事業報告・決算報告・役員改選・理事長互選
7月				
8月			8月23日	東光祭
9月	9月27日		9月20日	9/2 堺市監査 公印管理規程改定・職員就業規則改定・非常勤等就業規則改定・堺市指導監査・不動産取得・運営管理規程改定
10月	10月21日		10月28日	不動産取得
11月			11月27日	
12月			12月20日	
1月	2月5日		1月27日	仲介物件・里道買い上げ・ハラスメント防止規程改定・奨学金貸与規程
2月			2月28日	
3月	決議の省略による理事会 3月27日		3月18日	事業計画・予算案・運営規程改定

2019年度 児童養護施設 東光学園 事業報告

主はあらゆる病気からあなたを守り、あなたの知っているエジプトのあらゆる重い病気にかからせず、あなたを憎むすべての者にこれを下す。(申命記7:15)

【基本方針】

子ども達一人ひとりをかけがえのない個人として尊重し、心も身体も健全で、社会に貢献できる自立した人間を育てる

- ①気持ちよく挨拶を交わし、相手を思いやる心を育てる。
- ②常に感謝の気持ちを表現する。
- ③何事にも積極的に取り組む、前向きな姿勢を育てる。

【具体的取り組み】

～社会的養育推進計画～

◎2019年度は、新しい社会的養育ビジョンによって示された「施設の高機能化及び多機能化・機能転換、小規模かつ地域分散化」の実施に向けた、新たな推進計画を策定致しました。これは、2020年度を始期として2029年度までの10ヶ年（5ヵ年・2期）及び、その先の「将来像」も含めた計画となっており、児童定員90名を目標に、各ユニットの定員を4～8名程度まで縮小し、且つ2か所の小規模G.C.（グループケア）と、1か所の分園型自活訓練事業の開設を目指します。

2017年度より、小規模G.C.への移行を見据えた小規模ユニット（ルカホーム）を展開していましたが、今年度、こどもの不適切行動への対応による疲弊や職員間のコミュニケーション不足等により、途中退職者が相次ぎました。このためスタッフ構成の再編を行い、こども達の生活と職員の勤務シフトへの影響を最小限に抑える観点から、小規模ユニットを一旦閉鎖してホームの統合を実施し立て直しを図りました。

～意見表明・権利擁護～

◎『子どもの権利ノート』と、堺市独自に作成しているリーフレット『子どもたちへの大切なお知らせ』の説明・学習会を年度当初の4月3日に開催し、権利侵害を被った際の具体的な対処方法（担当ケースワーカー・行政機関への連絡先・直通葉書等）を伝えるとともに、意見箱を常設しており、いつでも、どんな些細な事でも意見表明の機会がある事を丁寧に説明し、意見・意向の聞き取りに努めて参りました。

しかし、男子学童ホームにおいて、金銭及び受診券の紛失事案が発生致しました。金庫にて保管し、更にロッカーに入れ二重に施錠する事や、貸出簿に記帳し、貸出・返却の際に確実に第三者から点検を受けるといった決まりが守られておらず、管理が杜撰に行われておりました。これを受けて事務所にて管理職による金銭・受診券管理としておりますが、ホーム職員に対しては、改めてこどもの貴重な財産をお預かりしている意識の向上・徹底をはかり、再発防止に努めております。

～学習・進路指導～

◎漢字検定を児童養護施設内で実施出来る制度を活用し、今年度も6月16日、10月20日、2月16日に行いました。小学生から高校生までが自主的に参加し、前向きな取り組みが見られました。

◎園内での学習では公文教室が5年目を迎え、小学生・中学生・高校生が取り組んでおります。また、中学生は公文を経験した上で、園外の学習塾にも参加しております。中学3年生の進路は、今年度は8名が受験し、2名は併願受験の結果、私学への進学となり、6名は志望校への合格を果たしました。高校生は、2名が卒園年度を迎え、1名は高校での経験を活かして工業系の企業へ就職、1名は大学進学を果たし、措置を延長して通学する予定です。

・公立高校への進学（男子；3名、女子；1名、合計；4名）

・私立高校への進学（男子；3名、女子；1名、合計；4名）

・就職（男子：1名、女子：0名、合計：1名）

・進学《大学・専門学校》（男子：1名、女子：0名、合計：1名）

～各種表彰～

◎皆勤や精勤、学校での成績やクラブ活動に加えて、園内の公文教室や絵画展・作品展等への出展といった活動での好成绩や頑張りに対し、皆で集う機会に発表しその功績を称え、図書カード等の贈呈でお祝いすることで自己肯定感を高め、更なる活躍・頑張りを促す目的で実施しております。

○公文式学習（くもん教室）、皆勤・精勤、成績優秀、クラブ奨励等

・4/1 公文式学習第8回進級式

進級賞：37名（小；30名、中；6名、高；1名）

枚数賞：12名（小；11名、中；1名）

がんばり賞：11名（小；11名）

・4/1 創立記念日夕食会

皆勤賞：33名（小；23名、中；8名、高；2名）、精勤賞：11名（小；2名、中；5名、高；4名）

成績優秀者：2名（高；2名）

クラブ奨励賞：15名（中；9名、高；6名）

第43回全大阪高等学校書道コンクール 全大阪書芸連盟賞：1名

第68回堺市子ども市展 書写の部：1名

・12/24 クリスマス・パーティ

成績優秀者：3名（高；3名）

～保健衛生、健康管理～

◎予防接種

今年度も近隣の神元クリニック様と杉山クリニック様のご厚意により、インフルエンザの予防接種を対象児童及び希望者全員に接種していただきました。児童の健康管理に多大なご協力をいただき、感染拡大の防止と衛生観念の意識向上に繋がりました。

・神元クリニック（学童以上・職員） 10/24・10/29・11/21

・杉山クリニック（小学生低学年以下） 10/29

～職業訓練・自活訓練・リービングケア～

◎職場体験・職業訓練の一環でもある所謂アルバイトは、生活態度・成績に応じて高校1年生からでも経験させており、社会経験並びに卒園後の自立生活を見据えた貯金のためにも重要な体験と位置付けております。また施設内で行う、1泊2日とその後の5泊6日で一人暮らしを体験する『自活訓練』及び、外部機関であるアフターケア事業部主催による『ソーシャル・スキル・トレーニング（全13回）』への参加を通して、社会に出てからのマナーやルール、身だしなみ・作法等を実践的に学ぶ機会となっております。

～心理療法～

◎2名の心理療法担当職員により、様々な発達課題や情緒に不安のあるこどもへ、生活支援担当の職員と連携しながら“こころ”のケアに努めて参りました。

○心理療法実施報告

- ・実施児童数：12名（男；8名 女；4名）
- ・心理療法等の回数

内 容	心 理 療 法	心 理 検 査	生 活 場 面 面 接	施 設 助 言 職 員 及 び 指 導	援 助 へ の 針 出 会 席 議	そ の 他	計
回 数	401	0	48	63	42	15	569

・対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
0～3歳未満	0	0	0	0	0	0	0
3～学齢前	0	1	0	0	0	0	1
小学生	1	6	0	1	0	1	9
中学生	0	1	0	0	0	1	2
高校生	0	0	0	0	0	0	0
計	1	8	0	1	0	2	12

～職員会議・研修～

◎職員一人ひとりの資質向上に加えて、各ホーム間と事務所との情報共有並びに連携強化の観点から各種の会議・委員会を実施しました。また職員個々の経験年数や学びの希望に応じた研修への参加を促進すると共に、全体としては、チーム対応を目指して安全委員会方式の導入に向けた準備を進めて参りました。

◎園内外研修への参加推進

- ・職員個人が研修計画書を作成
- ・スタッフ会議などで園外の研修案内を回覧及び周知
- ・府内研修、近養協、全養協、西日本セミナーなど宿泊研修への参加や他施設との交流を促進

◎園内研修の企画

○処遇困難事例検討会

- ・2/13 「家族の再統合を考える」

講師 大阪教育大学 飛谷 渉 氏

- ・2/18 「行動化が激しくなった高年齢児が入所となり、集団生活の中で子どもや大人を巻き込む関わりをする児への対応について考える」

講師 名古屋大学 工藤 晋平 氏

○機能強化研修

- ・7/3 「安全委員会方式」

講師 九州大学大学院 田嶋 誠一 氏

○アウトリーチ型研修の企画・運営

- ・2019度は武田塾・羽曳野荘との合同形式で、施設より保育士・児童指導員3名が参加
- ・「サークル・オブ・セキュリティー (COS-P)」(全6回・9/17,10/4,11/6,12/6,1/15,2/12)

講師 CRC (チャイルド・リソース・センター)

○防災研修 (法人)

- ・1/28 災害時対応研修

講師 堺市危機管理室

○人権研修 (法人)

- ・2/10 「上手にコミュニケーションを取るための

感情のコントロールと言葉選び」

講師 日本アンガーマネジメント協会 福成 二三代 氏

○新任職員研修

- ・現任訓練に加えて、外部の新任研修に参加。

○その他

- ・低学年・幼児ホーム職員向け研修

- ・9/26 「CARE」～子どもと大人の絆のために～

講師 こころとそだちの相談室 MiKuMaRi 和田 伊津美 氏

2019年度

【児童入退所動向（年度中）】

※現員は月の初日現在（一時保護は延べ人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現員	94	93	90	93	93	91	92	92	92	92	92	92
入所	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4
一報	4	1	3	1	1	2	2	1	0	1	1	2
退所	2	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	6

【入所理由別（年度中）】

	男	女	計
父母の死亡	0	0	0
父母の行方不明	0	0	0
父母の離婚	0	0	0
父母の不和	0	0	0
父母の拘禁	0	0	0
父母の入院	0	0	0
父母の就労	0	0	0
父母の性根異常・精神障がい	0	1	1
父母の放任・怠惰	1	2	3
父母の虐待・酷使	0	1	1
棄児	0	0	0
養育拒否	0	0	0
破産等の経済的理由	0	2	2
児童の問題による監護困難	0	0	0
その他	0	2	2
合計	1	8	9

【退所理由別（年度中）】

区分	男	女	計	
解除	家庭環境改善	7	2	9
	養子縁組	0	0	0
	自活・自立	3	1	4
	無断外出	0	0	0
	死亡	0	0	0
	その他	0	0	0
変更	他の児童福祉施設等	0	0	0
	その他	0	0	0

【進路・就職先】

区分	男	女	計	
高卒児	製造業	1	0	1
	サービス業	0	0	0
	飲食業	0	0	0
	医療関係	0	0	0
	進学	1	0	1
	その他	0	0	0
合計	2	0	2	

【入所年齢別（年度中）】

区分	就学前		小学生		中学生	高校生及び 中卒後 満18歳未満	小計	合計
	3歳未満児	3歳以上児	1年生～ 3年生	4年生～ 6年生				
入所	男	0	1	0	0	0	1	9
	女	1	6	0	1	0	8	
一時	男	0	5	0	1	0	6	14
	女	1	7	0	0	0	8	

【堺市子育て短期利用事業（年度中）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ショート・ステイ	男1 女2	男1 女8	男1 女1	男0 女4	男0 女1	男0 女2	男2 女2	男0 女2	男1 女2	男1 女4	男0 女5	男0 女1	男7 女34 計41

※今年度はトワイライト・ステイの利用はゼロ。

令和元年度 特別養護老人ホームふれ愛の家 事業報告

1, はじめに

地域包括ケアシステムの構築のために土塔町の盆踊りや地域清掃活動に参加し、地域との交流を深める活動を継続しています。

特別養護老人ホームの入退所者数、入院者数に減少がありました。一方で、地域の居宅介護支援事業所との連携を図り、在宅生活が困難な方の受入や緊急の受け入れ、入所待機者を短期入所で受け入れを行い対応することにより入院者ベットを活用することができましたが、年度末にかけて新型コロナウイルス感染予防対策の一環として短期入所の受け入れを一部制限しました。

ここに令和元年度の事業報告をさせていただきます。

2, 特別養護老人ホームふれ愛の家 (介護老人福祉施設)

【入退所、入退院況】

令和2年3月末日

定員84名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入所	1	1	2	1	0	3	2	3	1	6	2	0	22
退所	2	0	1	1	2	1	2	5	3	4	1	0	22
入院	3	4	4	4	6	3	2	2	2	2	3	6	41
退院	3	1	0	2	3	2	3	0	1	1	3	3	22
入所者数 (月末日)	83	83	84	84	82	84	84	83	83	83	84	84	1001

*退院の件数については、入院後に退所した件数は含みません。(数字は件数を表す)

【施設入所者の要介護状態】

令和2年3月末現在

定員 84 名	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	人数	合計
男 性	0	1	5	8	5	19	84
女 性	0	3	12	29	21	65	
小 計	0	4	17	37	26	84	平均介護度
構成比	0	5%	20%	44%	31%		4.01
前年度	0	5%	24%	37%	34%		

※旧措置入所が退所され契約入所に完全移行しました。(数字は件数を表す)

【施設利用者の実利用人数】

令和2年3月末現在

令和元 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用 者数	2347	2468	2403	2480	2483	2320	2521	2413	2462	2446	2275	2503	29071

※年間平均入所者数 79.64 名 (稼働率 94.8%) (数字は人数を表す)

【平均年齢等】

令和2年3月末現在

男性	81.9	歳	最低年齢	60歳(女性)
女性	88.8	歳	最高年齢	106歳(女性)
全体	87.3	歳		

3. 主な行事活動

4月	8月	12月
1日 辞令交付式 7日 家族会親睦会	4日 土塔町盆踊り 25日 東光祭	1日 家族会草刈り 4日 EPA現地面接 15日 クリスマス祝賀会
5月	9月	1月
19日 海外派遣プロジェクト 23日 レントゲン撮影	15日 敬老祝賀会 22日 土塔町布団太鼓見学	1日 新年会 5日 初詣(出雲大社)
6月	10月	2月
避難訓練(夜間想定) 4日 春の遠足 (くろまろの郷)	6日 深井地車見学 27日 臥床者外出企画 避難訓練(日中想定)	1日 深井中央中学 職業体験
7月	11月	3月
6日 堺市実践発表会 16日 不在者投票 20日 社協就職フェア	12日 秋の遠足 (愛彩ランド) 4日 ふれあいフェスタ In 宮園	新型コロナウイルス感染 予防対策

上記の他にも毎月開催している行事が次の通りあります。

【ボランティア】

第2火曜日：イキイキ唄体操、第2水曜日：ドックセラピーなど、又、ボランティアの協力により様々なイベント(切り絵、シーツ交換、洗濯たたみ)を企画、実行しました。

中区社会福井協議会ボランティアセンターを通じて、新たに7名の方がボランティア登録されました。

【研修】

職員の資質向上のため研修計画に基づき施設内研修を実施し、外部研修に参加しました。他にも近隣の4つの法人と合同で大阪社会福祉事業振興基金を活用した研修会を企画し研修に参加しました。

施設内研修として、看取りケア、安全運転、感染症、虐待防止、認知症、身体拘束、事故防止、リーダー研修、主任研修に関する研修会等を合計30回実施いたしました。

外部研修として、認知症研修(基礎研修、実践者研修)感染症・食中毒予防対策、身体拘束防止、個人情報保護、認知症実践者研修、介護福祉士指導者講習など研修会に参加しました。

介護福祉士国家資格の取得に向けた勉強会を実施し資格取得に向けたサポートを実施しています。令和元年度は4名受験し2名が合格しました。

【事故防止、苦情、感染症等】

事故報告 事故防止委員会を中心に予防策を講じて事故防止に取り組んでおります。

移乗時や介助時に出来やすい内出血班の対策（腰痛予防対策）も兼ねて、フレックスボードを導入、超低床ベット・低床ベットを導入し夜間・離床時の事故防止になっております。

骨折により入院に至る事故が4件、その他の事故が2件あり、堺市介護事業者課へ事故報告を行っております。事故の再発防止に向けた取り組みを実施しております。

苦情 苦情の受付は5件（ショート1件を含む）ありました。速やかに状況を確認し、対象者に事情説明を実施しております。

感染症 令和元年度は冬場にノロウイルスにより感染症の発生、2月後半より新型コロナウイルスによる感染拡大が社会問題として取り扱われ、職員一同感染防止対策に取り組んでおります。

【食事】 平成31年2月1日より、食事の提供方法をクックチル方式（自施設にて温めて提供）へと変更し1年が経過し利用者様より様々な意見を伺っています。「一食あたりの量が減少した。」「メニューが豊富になり彩りが良くなった。」などの意見を基に今後もより良い食事が提供出来る様に努めて参ります。又、個々に合わせた食事の提供も出来る様に努めています。

4. 終わりに

令和元年度は看取り介護の実践を得て、利用者様・家族様の意向にて施設での生活をより安心して暮らして頂けるように取り組みました。ご家族・本人の意向を確認しながら施設での看取り介護を3件実施できました。

事故防止や褥瘡予防等も視野に入れ設備面の充実を低床ベット・マットレスの導入を行いました。

今後の課題として人材確保・育成に向けた介護職員のキャリアパス制度の整備を進めており、職能資格制度規程に基づき職員面接を行う体制を整備しております。また職員間では業務を通じてOJTを実践できるように取り組みを実施しております。

将来を見据え介護職員人材確保として、派遣スタッフから契約職員へ、契約職員から常勤職員への置き換えを推進し、教育体制を整備して参ります。中長期的に、EPA（国際経済連携協定）・3R協同組合を通じて外国人技能実習生の受入を推進して参ります。

尚一層、職員教育を図り提供するサービスの質の向上を図ります。

前々年より取り組んでおりますキャリアパスの運営に関してまして、面談～評価面談まで統一した様式で行って行っておりましたが、今年度より専門職コースを設けて職種に特化した専門性の高い職員も評価出来る様に取り組んでおります。

令和元年度 ふれ愛の家 短期入所事業 事業報告

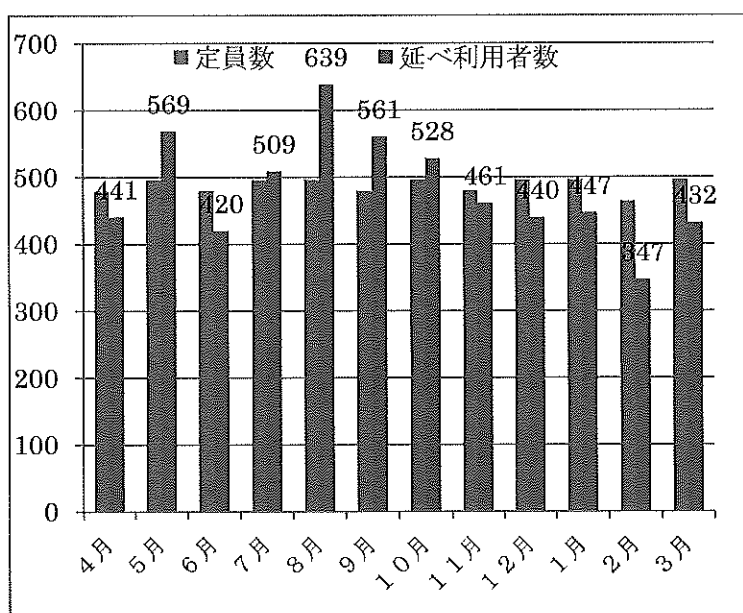
(ショートステイ)

1、はじめに

ここに、令和元年度の短期入所事業及び予防短期入所事業（ショートステイ）定員ベット数 16 床と特養空床利用（利用者入院中の空きベット）での事業報告をさせていただきます。

2、令和元年度短期入所事業 利用状況

令和元年度	定員数	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	16	441	14.7
5月	16	569	18.4
6月	16	420	14.0
7月	16	509	16.4
8月	16	639	20.6
9月	16	561	18.1
10月	16	528	16.4
11月	16	461	15.3
12月	16	440	14.1
1月	16	447	14.4
2月	16	347	12.0
3月	16	432	14.4
合計		5794	15.8



3、堺市高齢者虐待等一時対応

堺市の虐待等空床確保事業に協力していますが、担当期間内の受入れ依頼はありませんでした。

4、終わりに

令和元年度は、利用者の心身状態の変化により在宅の継続が困難となり、長期的な利用を希望される方が目立ちました。特養の入院床を活用しながら、長期的な利用ができるよう受入を調整することにより、一定の利用者が確保できました。

短期入所利用をされていた方の 10 名が特養入所へ移行しました。毎月定期的に利用継続をされる方と空床を他の（南区・中区、施設連絡会等で）事業所に提示することにより利用日の調整を行うことで利用者の確保に努めました。これまで同様、従来型特養の短期入所のニーズは高くなっており、経済的な事情で有料老人ホームや高齢者住宅、グループホームへの入所を躊躇される方など立場の弱い方の受け皿としての責務を果たして参ります。3 月より新型コロナウイルス感染症の影響により、入所者を感染から守るために、短期入所の入退所を極力少なくするように制限をさせていただいております。

令和元年度 ふれ愛の家 通所介護事業報告

1、はじめに

令和元年度は1年を通じて機能訓練の実施に力を入れ、一日のプログラムの中に具体的に盛り込むことができ、ご利用者に退屈な時間ができないよう工夫しました。

また、地域へ向けた介護予防の啓発活動として介護予防教室、地域から依頼を受け地域活動委員として堺コッカラ体操を地域サロンで行い、地域の高齢者との交流を深めることができました。

下半期は、これまで築いてきた家族やケアマネとの関係性が職員の入れ替わりにより希薄化してきていることを踏まえて家族、ケアマネジャーへの連絡、連携に取り組み、情報共有を積極的に行うことで家族、ケアマネジャーとの関係性を構築しつつあります。

2、令和元年度 デイサービスセンターふれ愛の家活動実績

【通所介護 サービス利用件数】

令和 1年度	開所 日数	利用者数					予防介護		合計人 数	平均利用 人数	
		7-8 時間	6-7 時間	5-6 時間	4-5 時間	3-4 時間	実利用 者数	延べ			
4月	26	522	268	200	8	25	23	11	45	567	21.8
5月	27	496	243	145	5	29	37	13	62	558	20.6
6月	25	482	236	170	7	25	43	15	79	561	22.4
7月	27	494	207	201	11	10	46	16	87	581	21.5
8月	27	466	203	193	8	29	42	17	85	551	20.4
9月	25	417	164	196	12	11	33	16	78	495	19.8
10月	27	498	190	223	10	25	49	15	84	582	21.6
11月	26	478	170	220	8	30	50	15	70	548	21.1
12月	25	471	159	225	10	34	43	15	60	531	21.2
1月	24	408	164	178	9	27	30	12	38	446	18.6
2月	25	429	151	219	10	24	25	14	46	475	19
3月	26	370	121	210	8	10	21	12	54	424	16.3
合計	310	5531	2096	2528	106	279	442	171	788	6319	244.3
平均値	25.8	460.1	174.7	210.6	8.8	23.3	36.8	14.3	65.6	526.6	20.4

【活動内容】

- ・カラオケシステムを活用したレクリエーションを継続しバリエーションを増やしています。また、これまでのレクリエーションプログラムに加えて10:00~11:00、12:40~13:30の時間にプリントによる脳トレ、看護師による個別機能訓練を実施し利用者の認知症予防と体力づくりに取り組みました。
- ・ボランティアの受け入れでは新たに土塔町の花笠踊りのグループとのつながりができ、地元住民との交流も楽しんでいただきました。
- ・年間行事として、季節ごとの行事に、ご利用者に楽しんでいただきやすいように職員による踊りなど新たに職員全員で取り組むことでチームの結束力を高めました。
- ・地域活動としまして、認知症サポーター養成講座、地域サロン、地域向け介護予防教室を企画し、特養と協働し介護予防、認知症啓発に取り組みました。

3、今後について

個別機能訓練の充実をはかり、地域の高齢者やケアマネジャーへの情報発信に工夫して取り組み、地域の方々が元気に笑顔で過ごすことに貢献できるようデイサービスとして取り組んで参ります。

令和元年度 居宅介護支援事業所事業報告

ふれ愛の家居宅介護支援事業所

1、はじめに

身近な相談窓口になれるよう介護予防教室や盆踊りなど 地域活動の参加し、地域からの多方面からの依頼を大切に取り組んだ結果、新規ケースは48件となりました。中区の事業所として地域包括支援センターが運営するケアマネ連会に積極的に参加し、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んできました。地域包括支援センターからの依頼も受けてまいりました。

2、事業実績

令和元年度 新規利用者件数 48件 (25件)

終了件数 51件 (28件) (件) は前年度件数

【新規・終了ケース件数】

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
終了ケース	4	3	3	5	5	4	2	5	6	5	4	5	51
新規利用	1	5	3	3	1	5	8	4	7	2	6	2	48
給付管理数	67	72	73	70	66	69	75	75	76	76	79	75	873
予防給付数	19	20	20	20	19	19	19	19	19	20	20	23	237

【活動内容】

令和元年度は新しく主任介護支援専門員を常勤職員として迎え新体制で事業所の立て直しを図りました。可能な限り介護支援専門員見学実習の受け入れを行い、資格取得予定者に対し指導・育成を行い、堺市で取り組んでいる介護と医療の連携(CCコネクト)より退院調整看護師による居宅介護支援事業所の見学実習の受け入れを行ったことで、事業所を超えて堺市の介護支援専門員や医療機関の人材育成の面で貢献することができました。

令和元年10月の介護保険制度改正に向けて、改正ポイントの整理や適宜書類の改定等に関する情報を収集し適時対応することに努めました。

ケアマネジメントにおける一連の流れ(アセスメント、プラン作成、担当者会議、計画書等の交付、モニタリング)について、書類の有無や記録の整理など個々の利用者ファイルの点検チェックを始めて取り込み、書類の不備など改善点が明確となり今後の課題とつなげていきます。

3、おわりに

令和元年度は新規件数が前年を23件上回りましたが 喪失、廃止ケースが大きく上回り利用件数で介護では伸び悩みました。他の加算に関しては積極的に取りこぼしがないうよう努力を行い25ケース取得。介護予防に関しては116%の増加となりました。

平成30年度に続き令和元年度より介護支援専門員の実務者研修の現場実習受入も取り組むことが出来ており、今後も地域の中の主任介護支援専門員としての役割を果たして参ります。介護支援専門員の定着の課題について、職員の教育や働きやすい職場作りについて取り組んでいきます。

又、特定事業所加算を算定する事業所としての役割を果たせるように地域包括支援センターと連携し、地域の困難ケースに取り組んでいきます。

令和元年度 中第2地域包括支援センター 事業報告

1、はじめに

中第2地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な相談に応じる高齢者の方の総合相談窓口として、多くの方に利用していただきました。

2、令和元年度 中第2地域包括支援センター事業実績

元 年度	総合相談			困難事例対応件数		予防プラン		
	新規	再相談	計	支援困難	虐待	包括プラン	委託プラン	計
4月	17	322	339	127	10	36	367	403
5月	35	319	354	139	3	38	375	413
6月	38	389	427	109	31	38	370	408
7月	36	396	432	110	12	42	376	418
8月	33	358	391	132	17	41	364	405
9月	32	364	396	97	35	44	371	415
10月	17	331	348	105	12	48	378	426
11月	26	330	356	114	25	48	391	439
12月	28	229	257	78	27	50	395	445
1月	24	251	275	87	9	48	390	438
2月	22	327	349	83	16	52	384	436
3月	35	314	349	122	49	45	389	434
合計	343	3930	4273	1303	246	530	4550	5080
前年度	346	3815	4161	2729	118	562	4458	5020
前年比	99%	103%	103%	48%	208%	94%	102%	101%

【活動内容】

① 暮らしやすい地域づくり

堺市に登録する見守り登録事業同士がつながりを持ち地域の課題を共有できるよう見守り登録事業所交流会を企画し、実際に民生委員とともに地域の現状について情報交換しあう場を設けました。また、介護支援事業所と民生委員との交流会も別で開催し、地域の抱える課題などについて情報を交換し合いながら、一緒に地域の課題を考える機会を作りました。

② 介護予防マネジメント

ケアマネジャーへ紹介する過程で、事前に複合的な課題を抱える利用者に関して、介護サービスへつなぐ前に関係機関（障害、地域福祉、生活保護など）につなぎ、ある程度課題を整理したうえで紹介することを実践してきました。

③ 総合相談支援

8050問題が本地域でも表面化してきています。50代の主な課題として発達障害や精神障害からくる対人障害や社会性障害などで、問題の解決策に対して決断できない、拒否するといったことで支援困難となる事例が多くみられました。

3、終わりに

地域包括では様々な相談にこたえるため、日頃より地域の関係機関とのネットワークが必要となります。これまで築き上げてきた関係をもとに、新たに、障害者支援にかかわる機関との関係の構築に取り組み8050問題にもスムーズに対応できる体制づくりに取り組みます。